

避難場所  
東久万地区より北の方角へ

- 凡例
- 消火栓
  - 防災倉庫
  - 自動販売機
  - 避難誘導標識
  - 危険箇所
  - ▨ 擁壁
  - 避難ルート
  - 避難場所 (地区内)
  - 避難場所 (地区外)
  - 集 集合場所 (地区内)



この防災マップは地震火災対策検討会において、地域の住民でグループ討議をしながら作成しました。  
 (消防水利の位置、避難経路で障害物となる可能性があるもの、複数方向の避難ルートについてグループ討議で記入した情報を整理)  
 (一部ルートが記載されていなかった箇所については補記しています。)

大規模火災は、どこで発生し、どの方向に燃え広がっていくかわかりません。複数の避難場所や避難ルートを想定し、火災が燃え広がる方向と逆方向の避難ルート、避難場所へ避難しましょう。特に避難に助けが必要な方は早め早めに避難の準備を行い、直ちに安全な場所への避難を開始します。直ちに避難をしなくても安全に避難ができる場合は、延焼の拡大を防止するため、消火活動を行うことも必要です。

地区内の避難場所は、**地区全体に火災が広がる可能性や、周囲の火災の熱により安全でなくなる可能性があります。**このため周囲の状況を確認しながら、**地区外へ逃げることを原則**とします。